

事例番号:380089

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第四部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

経産婦

2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 28 週 2 日

10:10 鈍痛・性器出血のため搬送元分娩機関受診

10:15 陣痛発来

11:18 陣痛発来のため当該分娩機関に母体搬送され入院

4) 分娩経過

妊娠 28 週 2 日

13:28 子宮収縮抑制困難、横位のため帝王切開により児娩出、骨盤位

胎児付属物所見 胎盤病理組織学検査で絨毛膜羊膜炎 stage II (Blan 分類)、

臍帯炎 stage 1 (中山分類)

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:28 週 2 日

(2) 出生時体重:1400g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:実施なし

(4) アプガースコア:生後 1 分 4 点、生後 5 分 8 点

(5) 新生児蘇生:人工呼吸(バグ・マスク、チューブ・バグ)、気管挿管

(6) 診断等:

出生当日 呼吸窮迫症候群

生後 3 日 血液検査でヘモグロビン 6.1g/dL、高血圧、頻脈あり

(7) 頭部画像所見:

生後 3 日 頭部超音波断層法で両側脳室内出血の所見

生後 69 日 頭部 MRI で脳室拡大、脳室壁や脳室内にヘモジデリン沈着を認め、出血後の所見

6) 診療体制等に関する情報

〈搬送元分娩機関〉

(1) 施設区分: 病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師: 産科医 1 名

看護スタッフ: 助産師 4 名

〈当該分娩機関〉

(1) 施設区分: 病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師: 産科医 2 名、小児科医 3 名

看護スタッフ: 助産師 2 名、看護師 2 名

2. 脳性麻痺発症の原因

- (1) 脳性麻痺発症の原因は、生後 3 日に生じた児の脳室内出血であると考ええる。
- (2) 早産期の児の脳血管の特徴を背景に、子宮内感染および出生後の循環動態の変動による児の脳の血流の不安定性が脳室内出血の発症に関与した可能性がある。

3. 臨床経過に関する医学的評価 (2020 年 4 月改定の表現を使用)

1) 妊娠経過

搬送元分娩機関における妊娠中の管理(妊婦健診、妊娠 26 週 0 日に腹部の張りの訴えに対する対応、妊娠 27 週 4 日に腹部の張り、呼吸苦の訴えにて受診した際の対応)は一般的である。

2) 分娩経過

- (1) 搬送元分娩機関において、妊娠 28 週 2 日に妊産婦からの電話連絡(鈍痛、性

器出血)に対し来院を指示したこと、来院時の対応(腔鏡診、超音波断層法、子宮収縮抑制薬投与、分娩監視装置装着)および陣痛発来と判断し当該分娩機関へ母体搬送としたことは、いずれも一般的である。

(2) 当該分娩機関における母体搬送後の対応(内診、超音波断層法、子宮収縮抑制薬投与、血液検査、分娩監視装置装着等)および子宮収縮抑制困難と判断し、胎位が横位であることから帝王切開を決定したことは、いずれも一般的である。

(3) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

3) 新生児経過

(1) 新生児蘇生(バッグ・マスクによる人工呼吸、気管挿管、チューブ・バッグによる人工呼吸)および早産、低出生体重児、呼吸障害のため当該分娩機関 NICU 入室としたことは、いずれも一般的である。

(2) 生後 2 日に腹部緊満、レントゲンで腸管拡張が認められ胎便性イレウスが疑われる状況で、生後 2 日、生後 3 日にガストグラフィン注腸造影を行ったことは一般的である。

4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

1) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

(1) 搬送元分娩機関

なし。

(2) 当該分娩機関

なし。

2) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

(1) 搬送元分娩機関

ア. 事例検討を行うことが望まれる。

【解説】 児が重度の新生児仮死で出生した場合や重篤な結果がもたらされた場合は、その原因検索や今後の改善策等について院内で事例検討を行うことが重要である。

イ. 家族からの疑問・質問が多くあるため、医療スタッフは妊産婦や家族とより円滑なコミュニケーションが行えるよう努力することが望まれる。

(2) 当該分娩機関

家族からの疑問・質問が多くあるため、医療スタッフは妊産婦や家族とより円滑なコミュニケーションが行えるよう努力することが望まれる。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

なし。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。